

2016年度 私立大学図書館協会

阪神地区相互利用担当者連絡会

日 時：2016年9月14日（火）

場 所：神戸芸術工科大学図書館

クリエイティブセンター2階プレゼンテーションルーム

出席者：別紙

開会挨拶：神戸芸術工科大学 図書館長 山之内 誠

I. 連絡事項

- ① 相互利用担当者紹介について
- ② 2015年度相互利用件数について
- ③ 不要の雑誌（重複雑誌）の紹介
- ④ 相互利用メーリングリスト(hs-ill-ml@jaspul.org)
確認調査及び分担保存誌リスト更新について

II. 承合事項

- ① 高野山大学図書館
- ② 関西大学図書館

III. 情報交換会（グループに分かれて自由な意見交換の場にします）

- 承合事項の質問内容について
- 海外文献取り寄せサービス利用の運用例
- 複写・貸借でのトラブル・解決事例について
- 地域の大学・公共図書館等との連携事例について

IV. 神戸芸術工科大学図書館見学

相互利用メーリングリスト(hs-ill-ml@jaspul.org)確認調査につきまして

阪神地区協議会相互利用運営幹事校
神戸芸術工科大学図書館

□調査を行う目的

本 ML につきましては、約 2 年間、登録アドレスの更新がほとんど無い様子です。昨今は各館において組織変更や担当者交替が少なからず生じているものと思われ、また本 ML の性格上、担当者の個人アドレスが登録されていることも多く、無効となっているアドレスも多々あることが考えられます。

通常ですと、アドレスの変更・追加等は協会 HP に掲載しております「メーリングリスト登録変更依頼」を幹事校にお送りいただく手続きとなりますが、現在、自館が登録しているアドレスが不明である館も少なからずおありと伺っております。

後述の調査や、各種案内の配信、さらに承合事項・情報交換の活性化のため、この機会に全体的なアドレス確認を行いたく、ご多用とは存じますが、ご協力のほどお願い申し上げます。

□調査の方法

本会の出席者の方々には、個別に現在の登録アドレスを記載したメモをお渡しいたします。お持ち帰り・ご確認の上、登録アドレスに変更等がある場合は、その旨記載の上、後日ファックスにて幹事校までご送信をお願いいたします（変更なき場合は、手続き等はございません）。

本日欠席の図書館様には、個別に確認のための文書を送信いたします。

□回答期日

2016 年 10 月 31 日（月）までといたします。ご回答いただいた順に、ML への登録変更を行い、個別にご登録アドレスへ作業変更の連絡をいたします。

□注意事項

メールシステムを外部のクラウドサービスで運用されている場合、送信相手のサーバが受け取るメールアドレスが、発信したアドレスと異なっている場合があります（MS Office365 など）。この場合、ML への登録アドレスは、クラウドサービスが実際に送信するアドレスを登録する必要があります。

□本 ML で今後行う調査

協会 HP の阪神地区協議会「規程等」のページに掲載している「分担保存誌リスト」が 2014 年 3 月現在のまま未更新のため、各館様へ、EXCEL データに修正・追記する形で自館データの更新を依頼いたします。調査完了後、幹事校が HP へのアップデートを行います。

なお、分担保存誌の中止・変更につきましては協会 HP の「分担保存誌の中止・変更・追加申請書」を幹事校までお送りください。

（申請内容につきましては、阪神地区協議会運営委員会にて協議のうえ、取り扱いを決定します）

以 上

承合事項・質問用紙(高野山大学図書館)

(承合事項・質問)

●図書館が収集・所蔵していない以下の資料について、他館からメールでの所蔵照会がありました。
どのように対応するのが適切と思われますか。またこういった調査に対応した事例があれば教えてください。

- ①大学が文部省・教学局とやりとりした資料の簿冊(昭和11～20年分)
- ②学内で発行されていた学生新聞(昭和11～20年分)
- ③学内で発行されていた学報、月報、週報などの学内報(昭和11～20年分)学内で行われた後援会などの行事予定・実施記録などが記されているもの
- ④大学の理事会・評議員会・教授会などの議事録・案内(昭和11～20年分)
- ⑤大学の各学科の教務日誌、処務日誌など、毎日の業務を記録した日誌類(昭和11～20年分)

承合事項・質問用紙（関西大学図書館）

（承合事項・質問）

●ラーニング・コモنزの運営体制について

本館では平成 27 年度から運営を開始した。

参考として運営体制について教えていただきたい。

（質問と回答欄）

（ ） には○を入れてください。

Q1. 図書館内にラーニング・コモنز等の共同学習スペース（以下、ラーニング・コモنزと記す）を設置していますか？

- （ ） 1. はい
- （ ） 2. いいえ

「Q1.」で「1. はい」と回答した場合のみ、Q2～Q5 に回答してください。

Q2. 貴館設置のラーニング・コモنزの運営体制について、人員の規模を教えてください。

1. 運営に関わる人員の総数
2. シフトあたりの人数

Q3. 貴館設置のラーニング・コモنزの運営体制は次のどれにあたりますか？

- （ ） 1. 図書館で管轄・運営（派遣職員、学生アルバイト等雇用を含む。）
- （ ） 2. 図書館での管轄と業務委託を組み合わせる運営（役割分担をして併存、時間帯によって別、など）
- （ ） 3. 全面業務委託
- （ ） 4. それ以外
（どのような運営体制をとられているのかを記述してください。）

Q4. 「Q3.」で「3. 全面業務委託」と回答の機関について、どのような業務を委託の範囲としていますか。あてはまる番号を選択してください。(複数回答可)

- () 1. 利用申込受付等の窓口対応やPC貸出等の機器管理対応等の定型的な業務
- () 2. レファレンス調査受付等、学習・研究活動支援業務
- () 3. 学修支援活動(ビブリオバトル、展示、など)の企画・提案・実施
- () 4. その他
(委託内容を記述してください。)

”

Q5. 「Q4.」で「3. 学修支援活動(ビブリオバトル、展示、など)の企画・提案・実施」を選択された機関について、業務委託による学修支援活動の企画・提案・実施を行うに際して、図書館職員はどのように関わっていますか。

例) 定例会等の場を設け、企画内容についての情報交換・共有を行い、実施している。
(実施方法を記述してください。)

Q6. 「Q4.」で「3. 学修支援活動(ビブリオバトル、展示、など)の企画・提案・実施」を選択された機関について、その成果と課題について教えてください。